



Vol.16 / No.1



展示専用室誕生

事務局長 小林二三男

博物館オープン以来、会議や講演会や企画展示にと活躍してきた多目的ホールがこの度、展示専用室としてリニューアルいたしました。

多目的ホールは名前が示すとおり多目的に利用する為、床・天井・壁面の作りや色使いそして照明などが必ずしも展示に適している訳ではありませんでした。

博物館はプロ野球界のみならずアマチュア野球界、関係各団体や野球愛好家の絶大なる協力のもと、実物資料や写真・映像そして書籍など多数の品々を収集することができています。今やその数は資料3万点、書籍・雑誌は5万冊にも及んでいます。この貴重な収蔵品を常設展示以外でもタイムリーな展示や話題性のある企画展を開催することで数多くのお客様に楽しんで頂けるように努力しております。その場所が企画展示室なのです。

博物館は常設展示のほか年間を通して企画展や特別展を開催していますが、それらは全て通常の入館料だけで見ることが出来ます。いわば嬉しい「価値あるオマケ」のような存在です。

展示専用ホールとして「お客様の期待感が高まるよう」「展示品が映えるよう」「展示品が存在感を主張できるよう」工夫を凝らし、展示環境の向上を目指しました。

部屋全体を黒のイメージで統一し落ち着いた雰囲気醸成し、四方の壁は全面にメッシュを取付てあらゆる展示に対応出来るようにしました。特に重要な展示照明は、調光可能なスポットを多用することによって、展示品ごとに最も適した光を当てる事が出来るようになりました。大きいものは3mもある日本シリーズのペナントから、小さいものはサインボールまで様々な展示品がありますので、今回の改装で特徴を捉えた展示をすることが可能になりました。



昨年より入口前・受付・エレベーター・殿堂入口と統一したイメージで改装を重ね、今回仕上げの意味で企画展示室の改装を終えました。外観では存在感をアピールし、館内では期待感を持って頂き、野球の持つ「力強さと情熱」を感じてもらえるような博物館でありたいと思っております。



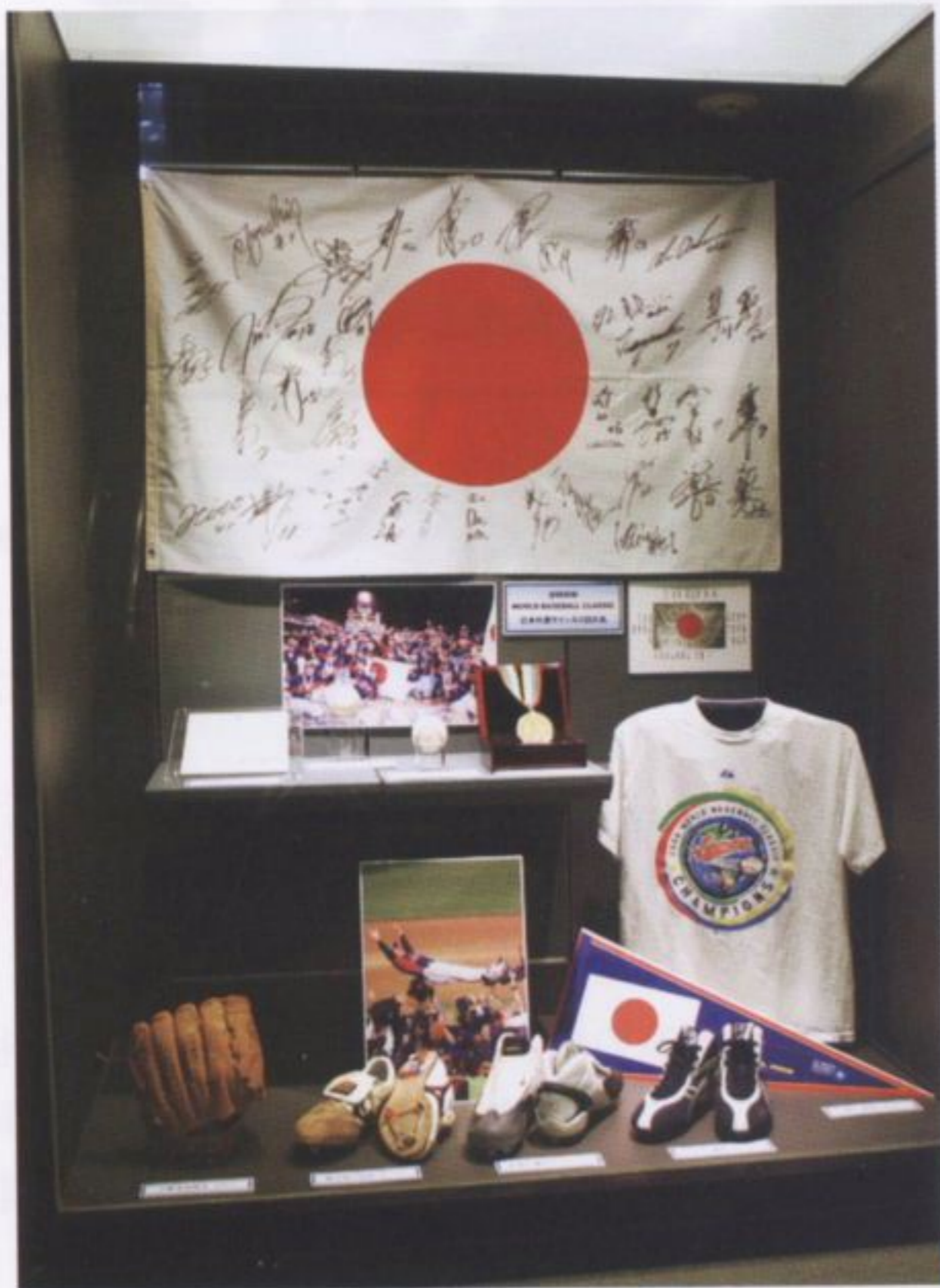
もの 知ってほしいこんな資料(55)

WBCウイニングボール展示!

野球体育博物館では、ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)で優勝した王JAPANの“世界一”のウイニングボール、MVPを受賞した松坂大輔投手のスパイクなどを3月24日午前10時の開館より、館内エントランスホールのWBC特別展示コーナーにて公開しています。展示開始以来、多くの方々に喜んで見ていただいております。今回は、各資料と展示の裏側を少し詳しくご紹介します。

3月7日から、エントランスホールに特設コーナーを設け、代表選手サイン入り日の丸や3月3日WBC初勝利(対中国戦)ウイニングボールなどを展示し、日本代表を応援するコーナーとしてスタートしました。

3月20日(日本時間21日)の決勝でキューバを破り、見事世界一を達成した日本代表チームは、22日夜帰国。翌23日にコミッション事務局より連絡があり、早速小林事務局長と共に訪問して受け取り、6時の閉館を待って展示作業を実施し、翌24日10時より皆様に公開することが出来ました。



①

日の丸

写真①

日の丸はベースボール・マガジン社の記者の方々が手分けして代表選手にサインしていただいたものです。アメリカへ出発する前のものなので、黒田博樹投手に代わった久保田智之投手のサインはありますが、アメリカに行ってから急遽、石井弘寿投手に代わり招集された馬原孝浩投手のサインはありませんでした。しかし、4月6日に福岡ソフトバンクホークスを通じて馬原投手にサインをしていただきました。



決勝戦ウイニングボール

王監督のサインと日付(2006.3.20)に加え、「世界一、最高だ!」と記されています。

優勝メダル【表・裏】

計測したところ、重さは206g、直径は硬式ボールとほぼ同じ75mm、厚さは5mmでした。表には、「WORLD BASEBALL CLASSIC CHAMPION 2006」という文字と優勝トロフィーがデザインされ、裏面には、参加した16の国と地域名、決勝の地「SAN DIEGO・CALIFORNIA・USA」、「INAUGURAL TOURNAMENT(第1回大会)」と大会ロゴがデザインされています。



The Baseball Museum



イチロー選手スパイク

手に取った瞬間、あまりの軽さにびっくりしました。靴底は写真のように軽量化が施されており、片足が約285gでした。当館所蔵の96年イチロー選手着用スパイク（ローカット）の約300gよりも軽いスパイクです。



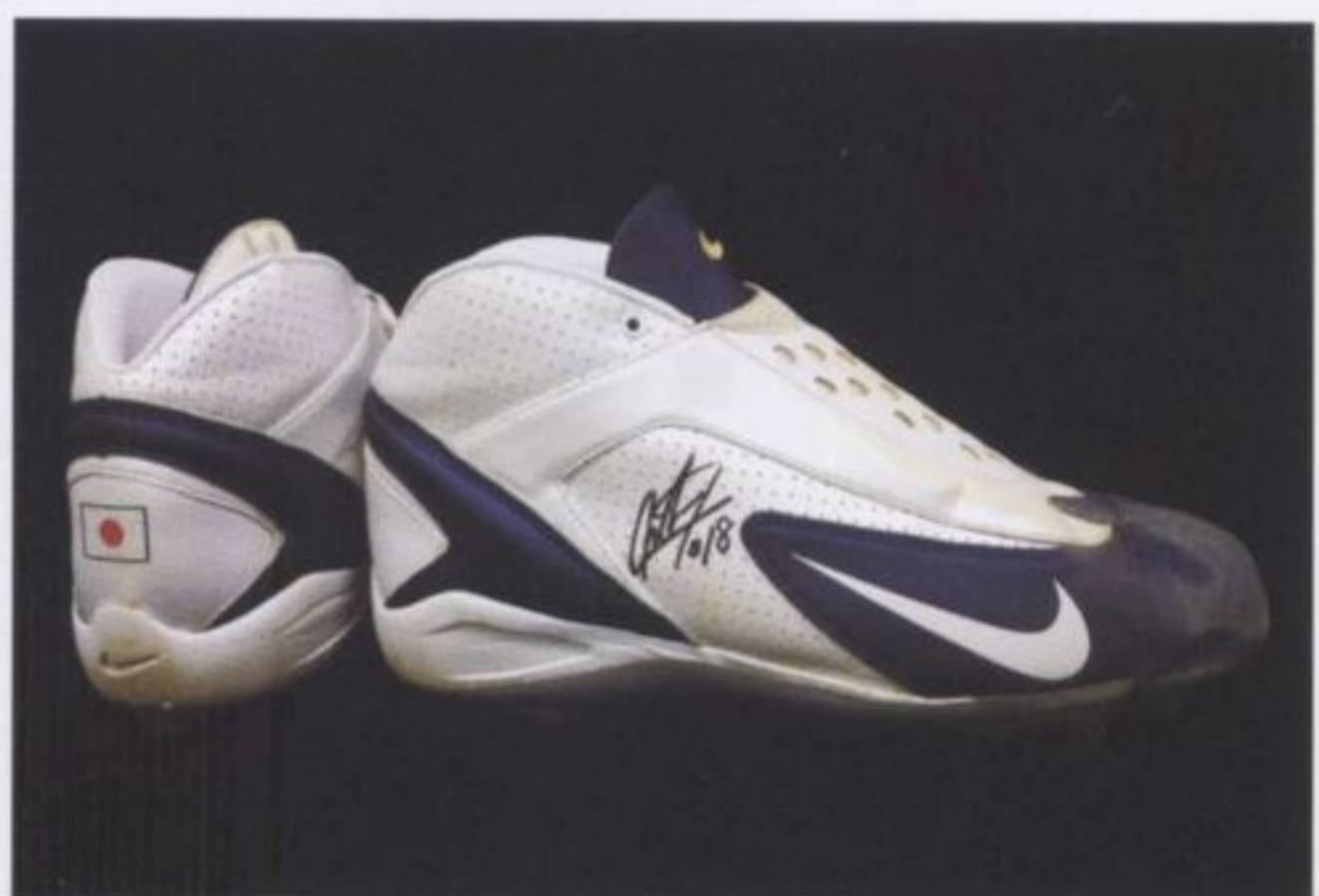
渡辺俊介投手スパイク

決勝戦試合後の表彰式の際、ペトコパークのグラウンドを色とりどりの紙吹雪が舞いました。この渡辺投手のスパイクには、その時の紙吹雪が付着しています。



松坂大輔投手スパイク

MVPを獲得した松坂投手のスパイク。かかと部分に、日の丸が付けられています。



上原浩治投手グラブ

準決勝の韓国で7回3安打無失点に抑えた上原投手のグラブ。



小泉首相のお祝いメッセージ（全文）

写真①左中

「ワールド・ベースボール・クラシック、初代世界一おめでとうございます。準決勝、決勝と、私も手に汗を握りながらテレビで応援していました。シリーズ途中での敗戦にも屈することなく、チームが一丸となって決勝戦に進み、強敵キューバを破って世界一に輝いた、王監督率いる日本代表のみなさんの活躍を誇りに思います。これからも世界中の野球ファンのために頑張ってください。

2006年3月22日 内閣総理大臣 小泉純一郎

この後、松中選手バット、イチロー選手バット、などが追加され、さらに優勝トロフィーも12球団本拠地を巡回した後に（5月中旬以降予定）博物館へやって来る予定です。

全国からお客様が来館する夏休みいっぱい、WBC特別展示は続けて行きますので、ぜひご覧下さい。皆様のご来館をお待ちしています。

学芸員 新 美和子、関口 貴広



コラム／博覧・博楽 (18)



スポーツ・アナウンサー

深澤 弘 (野球体育博物館維持会員・元ニッポン放送アナウンサー)

アナウンサーになったのは22才のとき。プロ野球の中継をするようになったのが27才のときだから、もう40年以上も昔のことになる。デビューは後樂園球場。カードは忘れたがそのときの解説が1978年に野球殿堂入りした、当時“球界の彦左”といわれていた浜崎真二さん。「坊や、オレはみんなが言っているほどひねくれ者じゃあない。何でもいいから聞いてきな。」と励まされて放送をはじめたが、何をどんな風にしゃべったか、全く記憶にない。

スポーツ・アナウンサーというのは、アナウンサーのなかでは特異な存在だ。というのは司会にしても、ディスクジョッキーにしても、ニュースにしても、いまあらゆるジャンルにタレントが進出し、アナウンサー、とくに男性アナウンサーの職場が奪われている。しかし、スポーツ中継だけはスポーツ・アナ以外誰も出来ない。いままで何人かのタレントが挑戦したが全てギブアップ。この世界だけはスポーツ・アナウンサーの独壇場だ。

いろいろ理由はあるが、まず全てアドリブで放送しなくてはならないこと。目の前で起きたことを自分の言葉で、しかも判りやすく伝えるということはかなり難しい。目で捕らえたことを瞬時に言葉にするということは容易なことではない。そのため一人前のスポーツ・アナになるには最低10年はかかる。

持って生まれた素質も必要だし、長時間の放送に耐えることの出来る肉体的、精神的なスタミナも要求される。タフな声帯を持っていないと無理だし、性格的に明るいことも絶対条件になる。またプロ野球を中継するのなら野球のルール、戦略、戦術、技術はもちろんのこと球界の仕組みなどに強くなる必要がある。監督、コーチ、選手の取材もあるし、解説者との呼吸もある。というようにクリアしなくてはならない課題が山ほどある。

日常生活のなかにも、結構仕事が入り込んでくる。まずは多くの資料、データ。いくらコンピューターがあるとはいえ、手作りの資料にかなうものはない。毎日、例えばプロ野球選手のカルテを作る。新聞のスクラップもありこれだけで3時間はかかる。それが済むと試合開始3時間前にはグラウンドに入り、取材する。炎天下の人工芝の球場の気温は40度を越えている。放送席も多少はクーラーが効いているが、スタジオほど涼しく、きれいではない。そうそう絶対禁物は寝不足だ。寝不足だと目で捕らえたものがすぐ口から出てこない。放送開始から2時間もすると、疲れてボーッとしてくる。しかし、よく眠ろうと思っても、放送前夜などは緊張して寝付きの悪いことが多い。そんなわけでプロ野球の中継を1500試合以上こなしているが、ベストコンディションでマイクの前に座ったことは、数えるほどしかない。

というようにスポーツ・アナにはかなり制約がある。これらを全て克服しないとエースにはなれない。ではなぜそんな思いまでしてスポーツ・アナを目指すか。それは第一にスポーツを誰よりも愛していること。第二にスポーツ・アナは他の誰にも出来ないこと。第三はラジオで言えば、野球中継の凡そ3時間、自分一人で電波を独占出来、自由に表現することが出来る、などがあるからだ。

責任もある。だから下手な放送をしたあとなどは大変だ。非難、苦情の電話、きつい投書、いまは容赦ないメールも殺到するという。もうこてんばんだ。

いま、40年以上のプロ野球アナウンサーとしての自分を振り返ってみても、野球というゲームをパーフェクトに伝えることが出来たことは殆ど無い。でも、それは仕方ないことかもしれない。野球の戦略、戦術、技術は無限であり、展開も無限。そのうえ楽しさ、面白さも無限。つまり「野球はなんの筋書きもない最高のドラマ」だからである。



殿堂入りの人々を語る(11)

鈴木惣太郎の思い出

鈴木 洋子 (鈴木惣太郎氏 養女)

グローバルユースビューロー所属・ツアーコンダクター)



1968年殿堂入り
鈴木惣太郎氏レリーフ

去年はプロ野球70周年、戦後60年という区切りの年でありましたためにテレビ局、新聞社などの取材、資料提供などがいつになく多い年でした。記憶をたどりながらの資料整理の時間を持ちました事で昔の思い出に浸った一年でもありました。

鈴木惣太郎の地元である伊勢崎市では伊勢崎市誕生記念、鈴木惣太郎杯争奪 第1回関東選抜還暦軟式野球大会が秋晴れの青空の下、平成17年9月2日に開催され、開会式に招待を受けました。

NHKの番組で「その時歴史が動いた「プロ野球を作った男たち」～昭和10年アメリカ遠征記」(平成17年7月6日放送)は提供致しました写真が全編を通して主役に扱われ、手元にある数々の資料の歴史的価値を感じるとともに、惣太郎の歴史の中での歩みを再認識することが出来ました。

そしてアメリカ遠征記に関しての再現ドラマは、いつも眼にしていた昔の写真の一枚一枚から沢村投手、水原監督、そして惣太郎と次々に人物が浮き出てきて、動画に構成されていました。惣太郎の若き日の様々な出来事には信念を貫く熱さを感じ新鮮な感銘を受けました。

私が知る惣太郎は70歳を過ぎた熟年期からです。そのころも毎日、スポーツ新聞、外国からのスポーツ雑誌や新聞を赤鉛筆でチェックして、手伝いのものが切り抜いてスクラップしていました。新聞社の原稿を書く仕事を続けており、記事を書くためには地道な資料収集も必要な事を学びました。

記録という点でもとても几帳面でした。事務仕事の手伝いで手打ちのタイプライターの時代に複写目的でカーボン紙を挟んでタイプを打つよう指示された事を思い出します。長年にわたって書き続けていた日記及びその中に挟まれた数々の手紙、メモ、切抜き類は、野球関係の資料という観点からだけでなく、時代が映し出されていて読み返して懐かしいものがあります。日記を整理して本にしたいと思っております。

恒例の元旦の明治神宮参拝から年が始まり、朝の体操、散歩(3コースからその日の気分で選択)など、四季折々の自然を愛でながら規則正しいなかにも工夫を凝らして楽しんでいました。いつも明るく大きな声で、ちょっとした出来事も感動的にうれしそうに話してくれたことを笑い声と共に思い出されます。

病院、歯医者、床屋から始まって、日本料理店、中華料理店、うなぎや、てんぷらやから日常の買い物にいたるまで、お気に入りのこだわりはとても強い人でした。

家の中ではいつも着物で過ごし、外出時にはスーツにトレンチコートをとてもおしゃれに着こなしていました。計測の方法も尺貫法とインチを併用、檜風呂内に洋式トイレ、掘り炬燵にダブルベットと明治時代にアメリカの最新のものが混入された生活スタイルを通していました。

海を望める横浜の小高い丘の頂上の家で生涯の大半を過ごしました。海水浴をしたという海岸も開発により埋め立てられ、米軍用宿舎も返還されてすっかり辺りといったい様子が変わりました。

異国情緒漂う横浜の良き時代に日本史の上でも大きな変化期に、大仕事を熱き闘志で思う存分やり遂げ、幸せに人生を謳歌したのだと思います。

「観客を楽しませなくてはプロではない」という視点でプロ野球を見守っていました。今回のWBCの王JAPAN世界一の熱い戦いの勝利のニュースに惣太郎の満面の笑みが重なって思い浮かびます。

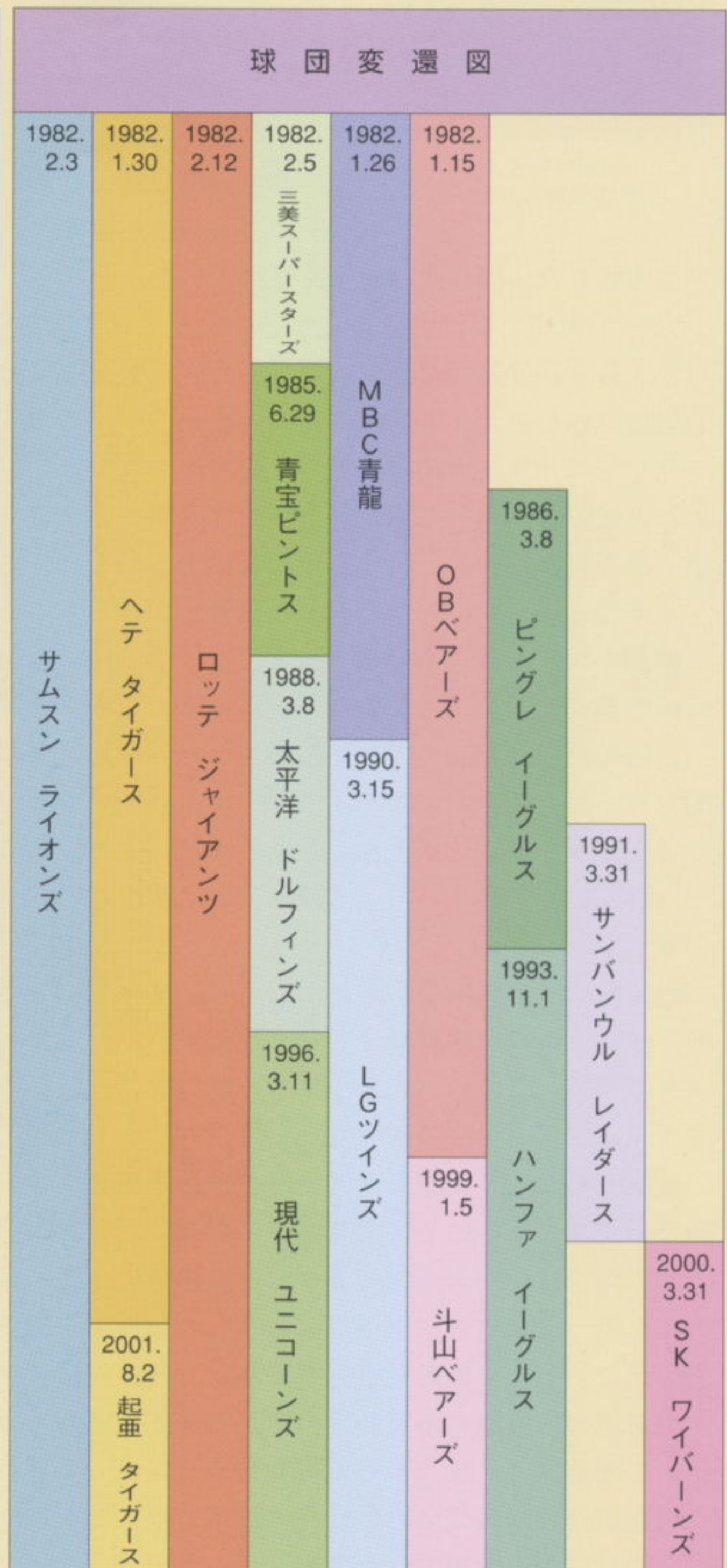


📖 こんにちは図書室です 📖

今年、韓国プロ野球25周年。そこで、今回は韓国プロ野球の球団変遷を取り上げました。韓国プロ野球は、1982年に1リーグ制6球団でスタートし、1999年、2000年の2リーグ制を経て、現在は1リーグ8球団で試合を行っています。

韓国プロ野球について知りたいという方、図書室に記録年鑑、ファンブック、スクラップ（雑誌切抜き）などがありますので、どうぞご利用下さい。

年度		シーズン優勝	韓国シリーズ優勝	試合数
1982	前期	OB	OB	40
	後期	サムスン		40
1983	前期	ヘテ	ヘテ	50
	後期	MBC		50
1984	前期	サムスン	ロッテ	50
	後期	ロッテ		50
1985	前期	サムスン	/	55
	後期	サムスン		55
1986	前期	サムスン	ヘテ	54
	後期	ヘテ		54
1987	前期	サムスン	ヘテ	54
	後期	サムスン		54
1988	前期	ヘテ	ヘテ	54
	後期	ヘテ		54
1989		ピングレ	ヘテ	120
1990		LG	LG	120
1991		ヘテ	ヘテ	126
1992		ピングレ	ロッテ	126
1993		ヘテ	ヘテ	126
1994		LG	LG	126
1995		OB	OB	126
1996		ヘテ	ヘテ	126
1997		ヘテ	ヘテ	126
1998		現代	現代	126
1999	マジック	サムスン	ハンファ	132
	ドリーム	斗山		132
2000	マジック	LG	現代	133
	ドリーム	現代		133
2001		サムスン	斗山	133
2002		サムスン	サムスン	133
2003		現代	現代	133
2004		現代	現代	133
2005		サムスン	サムスン	126
2006		?	?	126



※1986年後期は同率首位
 ※1986年以降、プレーオフ導入
 ※1999年、2000年 2リーグ制

司書 山根 礼子

The Baseball Museum



【2006年度の維持会員を募集しています】

財団法人野球体育博物館は、昭和34年に野球専門の博物館として開館して以来、野球や体育に関する資料を収集・保管・公開してきました。バット等の実物・写真資料は約3万点、図書・雑誌は約5万点を収蔵しており、展示や閲覧という形で多くの方々に利用していただいております。

また、年1回競技者表彰委員会と特別表彰委員会にて野球界の功労者を選出し、「野球殿堂入り」として表彰しています。

維持会員とは、このような博物館の事業にご賛同いただいた方々に、維持会費をお願いし、博物館の運営をご支援いただくものです。

1. 会員の特典

- (1) 当博物館発行「ニューズレター」(季刊)送付します。
- (2) 何度でも無料で博物館に入館できる優待証を発行します。
- (3) 会員以外の方でも利用できる博物館招待券を差し上げます。
- (4) イベント情報などを優先的にご案内します。
- (5) 博物館で販売している商品が10%引きになります。

*新個人会員には上記の特典のほか「The Baseball Hall of Fame & Museum 2002 ~人で振り返る野球ハンドブック~」(2003年から2006年までの小冊子つき)を進呈します。

*新ジュニア会員には左記の特典のほか「野球体育博物館オリジナルピンバッジ」を差し上げます。

2. 会員の種類と会費

年会費(4月~翌年3月迄)	
法人会員	1口 10万円
個人会員	1口 1万円
ジュニア会員(小・中学生)	2,000円

ご入会月により、初年度年会費の割引があります。

3. ご入会の方法

①館内にあります「維持会員募集のご案内」の“入会申込書”に、必要事項をご記入のうえ、係りにお渡しいただくかお送りください。「維持会員募集のご案内」は郵送もいたしますので、博物館までご連絡ください。

②“入会申込書”が届きしだい“維持会費のご請求書”をお送りしますので、維持会費をお振込みください。

お問い合わせ 博物館 業務部 高城・竹内
皆様のご協力、よろしくお願い申し上げます。

新しく
ジュニア会員を
募集しています!
1年間 2,000円
君も野球通になれる!

博物館からのお知らせ

【訃報】

1996年に野球殿堂入りされました藤田元司氏が2月9日に逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

【ゴールデンウィーク情報】

①小・中学生限定 野球カードプレゼント

4月29日(土・祝)からのGW期間中ご来館の小・中学生に、BBM野球カードを2枚ずつプレゼントします(※先着2000人、カードが終わり次第終了します)。

②小・中学生限定 バッターボックス体験にチャレンジ!

館内イベントホールの人気コーナー「バッターボックス体験」に挑戦してヒットを打つと、本数に応じていろいろな賞品をプレゼントします。

日 時 5月3日(水・祝)、4日(木・祝)
午前11~12時 午後2~3時

参加方法 小・中学生の入館券と引き換え

③2005オールスター使用ボールを限定発売!

5月6日(土)10:00より、2005年のオールスターゲームで実際にプレーに使用したボールを、1個2,500円で限定発売(第1戦インボイス西武...24個、第2戦甲子園...24個)します。なお、数に限りがありますので、お一人様各球場分1個までとさせていただきます(ボールが売切れ次第終了となります)。

●博物館のご案内

場 所 東京ドーム21ゲート右
開館時間 3月1日~9月30日AM10時~PM6時
10月1日~2月末日AM10時~PM5時
(入館は閉館の30分前まで)
入館料 大人 400円(300円)
小・中学生 200円(150円)
()は20名以上の団体
休館日 月曜日(祝日、プロ野球開催日、春・夏休み中の月曜日は開館)
年末年始(12月29日~1月1日)

【5月・6月・7月の休館日】

5月 1日・8日・15日・22日・29日
6月 5日・12日・19日・26日
7月 3日・10日
*7月11日から9月10日まで無休です。

【販売】

「プロ野球公認球」

今年から公認印が変わりました!
(写真)

価格・梱包送料は従来通りです。

・公認球	1個	1,600円
・梱包送料	1個	250円
	2~3個	400円



*郵送ご希望の方は、「公認球希望」と明記の上、代金(公認球代+梱包送料)を現金書留で当博物館までご送付下さい。

*4個以上お求めの方は、当博物館(TEL 03-3811-3600)までお問い合わせ下さい。

*公認球は当博物館の受付でも販売しております。

プロ野球公式記録集

「オフィシャル・ベースボール・ガイド 2006」

1963年から毎年発行されているプロ野球公式記録集です。全選手打撃成績・全投手成績、日本シリーズ、オールスターゲームの記録集、イースタン・ウェスタンリーグの成績、セ・パ両リーグの記録集、個人年度別成績などに加え交流戦の勝敗・打撃・投手成績もわかります。(税込価格 2,900円)



●編集後記 エントランスホールのWBC関係の展示は大人気で、ゲームのある日などは何重にも人垣ができています。決勝戦のウィニングボール、紙ふぶきが付いたままのスパイクなどなど...皆さん改めてあの感激にひたっているようです。次回ニューズレターは殿堂入り表彰式の速報をお届けしますので、発行が少し遅くなります。

Newsletter Vol.16 / No.1

2006年4月25日発行
編集・発行 財団法人 野球体育博物館
〒112-0004 東京都文京区後楽1-3-61
Tel 03(3811)3600 Fax 03(3811)5369
<http://www.baseball-museum.or.jp/>
定価 100円

The Baseball Museum



リレー随筆(24)

競技者表彰委員会幹事 永瀬郷太郎 (スポーツニッポン新聞社)

カクテル光線に映える天然芝の上、王貞治監督の体が宙に舞う。揺れる日の丸、舞う紙吹雪…。第1回ワールド・ベースボール・クラシック (WBC) 決勝戦が行われたサンディエゴのペトコ・パーク。アマ世界最強のキューバを破って初代ワールドチャンピオンになった瞬間をしっかりとこの目に焼き付けました。



1984年ロサンゼルスオリンピック大会の金メダル

光栄なことに、胴上げという慣習のない米国の球場で日本式儀式に遭遇するのは二度目。前回は1984年、野球が公開競技として採用されたロサンゼルス五輪、感涙にむせんだのは松永怜一監督です。

五輪唯一の金メダルと今回のWBC優勝。日本の野球を世界にアピールした2度の栄光には共通点があります。ともに一度はあきらめながら極めた頂点だったという点です。

84年の五輪は予選を兼ねた前年のアジア選手権に敗れ、本来なら出場できなかったのですが、東西冷戦の時代、キューバがソ連に同調してボイコットしたため出場権が転がり込んだのです。

今回は2次リーグ、球審の判定変更泣かされた米国戦だけでなく韓国にも敗れながら、メキシコが米国に勝ってくれたおかげで3カ国が1勝2敗で並び、わずかな失点率の差に助けられました。

いずれも拾ったようなチャンスを生かしたわけですが、84年との大きな違いは盛り上がりです。準決勝、決勝のテレビ視聴率はともに瞬間最高50%超をマーク。日の丸を背負った大会でなければありえない数字です。

こうした結果を見ると、日本球界にとってはWBCという大会そのものが神風だったような気がします。とかくありがちな「低迷する巨人戦視聴率=野球人気」という捉え方を否定し、野球の魅力をファンに再認識してもらえたのが大きい。

大会運営には多々問題がありましたが、主催者のMLBに感謝したい。強引に実施に持ち込んでくれてありがとう。ただ、次回開催については、せめてディフェンディングチャンピオンの意見くらいは聞いていただきたい。



(左) 第1次リーグ第1戦ウイニングボール
(中) 決勝戦ウイニングボール
(右) WBC金メダル